

⑮回生古希同窓会報告

⑮回生は、関西在住の同窓生が年に3～4回ゴルフ懇親会を開催しているが、2014年9月初旬の例会後の懇親会で、古来、希な歳まで生きてきたことを寿ぐために、一度、同窓会をしようということになり、藤原さん、神木さん、梶谷さん、本下さんらと企画した。藤原さん、神木さんの奔走で、12月15日から16日にかけて一泊二日で、神戸市北区にある「しあわせの村」で開催することにし、連絡が取れる同窓生に案内を出した。当日は北海道、関東から名古屋、関西、四国に至るまで、各地から18人もの参加を得て盛大に開催することができた。

一日目の15日の昼間は、ゴルフで楽しむ組と、梶谷さんのお世話を受けて午前中に4人が母校を訪問した。大学では澁谷先生、藤田先生、森川先生の実験室を見学させていただいた。学生時代に卒業研究で没頭した実験の思い出に花が咲くひと時となった。貴重な時間を割いて案内していただいた3人の先生に厚くお礼申し上げます。午後は5人が神戸港めぐりを堪能した。神戸港や沿岸部の大きな変容に皆さん一様に感無量という感じでした。夜の呑み放題付きの宴会では、まず参加者から近況報告がそれぞれあったが、簡単なあいさつをする人からから癌を克服した話や、近況報告もソコソコに延々と持論を展開する同窓生など学生時代には見られなかった新しい個性に触れることができ、更に旧交を深め、別室の二次会までも和気藹々としたひと時を過ごすことができた。翌日は、ゴルフが計画されていたが、あいにくの雨で中止となり次回のプレーを予約して散会した。同窓会に参加できなかった人からは、ご自身の近況報告とともに、次回は必ず参加するから連絡を・・・との連絡も頂き、有意義な情報交換もできた。

次回は、3年後が卒業50周年となることから、この頃に必ず開催することを約束して散会した。孔子の「論語」には、「70にして心の欲するところに従って矩を越えず」と記されているが、わが同窓生の多くは年老いてなお矍鑠（かくしゃく）として毎日を読書やスポーツ、趣味に熱中し、孔子が定義した「矩」をはるかに超えていると思われる輩も多いため、数年後の卒業50周年記念同窓会が盛大かつ賑やかになることは確実に、今から多くの同窓生の参加を期待しています。

（お詫び）本稿は、すぐに提出すべきであったが、歳のせいか全く忘れており、3月に配布された「暁木会ニュース」を見てようやく思い出し、半年遅れの記事になってしまいました。楽しみにされていた皆さんにお詫びします。

（文責：沖村）



神戸大学 工学部 土木工学科
15回生 同窓会 平成26年12月15日